

# の 広報 のぼりぐわ

5/1  
1996  
No.547



4月6日(土)、青葉小学校で入学式が行われ、男子24名、女子16名、計40名の新1年生が誕生しました。

新1年生は5年生が作ってくれた花のペンダントを首から下げて少々緊張気味に入場し、在校生や父母から大きな拍手を受けていました。

## 主な内容

- ・福祉サービスのご案内
- ・家庭でできるボランティア  
〈収集ボランティア〉
- ・登別市文化伝承館が開館しました
- ・きらり「登別ぐるりんGO」  
女性運転手 四方千代さん

# こんな制度を知っていますか



## 福祉サービスのご案内

市は、お年寄りや障害者の方が住みよい街をつくるため、さまざまな福祉サービスを行っています。

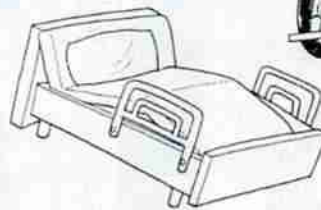
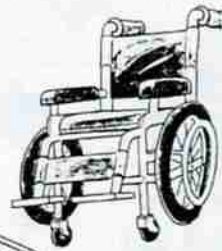
福祉サービスには、市が単独で行っているものや、国や道から補助を受けて行っているものなどがあります。

今回は、主なものを紹介します。詳しくは問い合わせください。

### 《高齢者の方へ》

#### ◎日常生活用具の

給付・貸与



援護が必要なお年寄りやひとり暮らしのお年寄り、重度の身体障害者（児）の方に対し、日常生活を容易なものとするため、日常生活用具が給付・貸与されます。

なお、障害者（児）の給付については、障害程度により給付品目に制限があります。また、本人や扶養義務者の所得税額などに応じて、自己負担があります。

▼主な給付用品

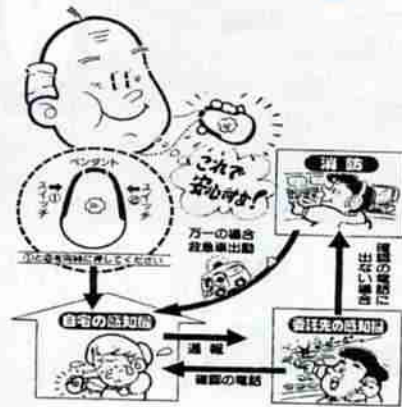
- 特殊寝台・マットレスなど（おおむね65歳以上の寝たきり老人）
- 浴槽・便器・特殊寝台など（身体障害者手帳2級以上の方）

▼問い合わせ 社会福祉課

（☎1911）

#### ◎独居老人等

緊急通報システム事業



ひとり暮らしのお年寄りの健康状態の悪化などに対する不安の解消や、緊急事態発生を知らせるため、電話回線を利用したペンダント型の緊急通報装置を設置しています。

▼対象者 市内に居住する所得税非課税世帯（おおむね65歳以上）でひとり暮らしまたは夫婦だけのお年寄りの世帯で、身体上の慢性疾患のため常時注意を要する状態にある方

▼手続き 地域を担当する民生委員・児童委員を通して申請してください（利用は無料）

▼問い合わせ 社会福祉課

（☎1911）

#### ◎移送サービス事業

老人福祉センターの施設を利用するお年寄りの方に、市バス「ふ

れあいバス」での移送サービスを行っています。

▼対象者 市内に居住する65歳以上の方。ただし、老人クラブ会員については60歳以上で老人福祉センターを利用する方

▼問い合わせ 老人福祉センター

（☎1303）

#### ◎ひとり暮らし老人等

ひとり暮らしのお年寄りへ電話をかけ、その方の安否の確認、孤独感の解消のための電話サービスを行っています。

▼対象者 市内に居住する市民で、おおむね65歳以上のひとり暮らしのお年寄り及びお年寄りの夫婦世帯など

▼問い合わせ 老人福祉センター

（☎1303）

#### ◎寝たきり老人等

布団乾燥サービス事業

寝たきりのお年寄りなどに対し、布団乾燥や洗濯サービスを行うことにより、老人の保健衛生に配慮し、健康維持と老人福祉の増進を図ります。（乾燥は月1回、洗濯は年2回）

▼対象者 市内に居住する65歳以上の寝たきりのお年寄りなどで、身体的環境的理由により布団乾燥などを必要とする方

▼問い合わせ 社会福祉課

（☎1911）

## ◎ホームヘルプ・サービス



日常生活を営むのに支障のあるお年寄りまたは心身障害者(児)の家庭にホームヘルパーを派遣し、日常生活の介護を行い、健全で安らかな生活を営むことができるよう援助します。

▼対象者 市内に居住するおむね65歳以上の方で、身体の虚弱等のため日常生活を営むうえで支障があり、またその障害等のため、その家族が介護サービスをとる必要がある世帯

▼問い合わせ 保健福祉課  
(☎0100)

## ◎デイ・サービス

総合福祉センター(しんた21)において在宅の寝たきりのお年寄りまたは心身障害者に対し、通所により自立生活の助長、生活の改善、心身機能の維持向上等を図る



▲デイ・サービスの様子

とともに、その家族の身体的負担の軽減並びに社会参加の促進を図ります。

▼対象者 ①おむね65歳以上の方で、身体の虚弱等のため日常生活を営むうえで支障があり、かつ通所が可能な方②在宅の心身障害者またはその介護を行う方で通所が可能な方

▼利用料金 1回500円  
▼問い合わせ 保健福祉課  
(☎0100)

## ◎ショート・ステイ

寝たきりのお年寄りや重度身体障害者を介護している方が、病気などのやむを得ない理由により、在宅で介護が困難になった場合に、一時的に指定する施設で預かり、お年寄りや障害者及びその家族の福祉の向上を図ります。

▼対象者 ①おむね65歳以上で、家族の介護を受けている方

②18歳以上で身体障害者手帳の交付を受けている在宅の重度身体障害者

▼問い合わせ 保健福祉課  
(☎0100)

## ◎リフォーム(住宅改良)ヘルパー派遣事業

リフォームヘルパーがお年寄りや障害者の家庭に訪問し、生涯を住み慣れた家で暮らしたいと願う方々へ、身体状況を踏まえた住宅の改良や将来を意識した新築について、福祉、保健、医療及び建築関係の専門家が、安心して暮らすことのできる、人にやさしい家づくりへの相談や助言を行います。

▼問い合わせ 社会福祉課  
(☎1911)

## ◎北海道高齢者・身体障害者住宅整備資金貸付

お年寄りや身体障害者が生活しやすい住環境を整備するために必要な資金を貸付することにより、福祉の増進を図ります。

▼対象者 住居を所有し、60歳以上の高齢者または障害者手帳を所持する方のために住居を増築または改修しようとする方

▼貸付限度額 300万円以内  
▼受付期間 平成9年1月31日まで

## ◎寝たきり老人等介護手当

在宅の寝たきり老人や重度心身障害者及び特定疾患患者の福祉の増進を図るとともに、介護をしている方に対し介護の労をねぎらうため、介護手当を支給します。

▼問い合わせ 社会福祉課  
(☎1911)

## 《障害者の方へ》

### ◎更生医療

18歳以上の身体障害者手帳所持者で、身体的損傷に対する医療を終え、既に治癒した障害者に対し、日常生活能力または職業能力を回

復し、もしくは獲得させることを目的として行う医療です。

## ◎補装具の交付・修理

失われた身体機能を少しでも補い、日常生活や職場生活を容易にするため、障害内容に合った補装具の交付や修理を受けることができます。(一部自己負担あり)

▼対象者 身体障害者手帳所持者で必要と認められる方  
▼問い合わせ 社会福祉課  
(☎1911)

## ◎特別児童扶養手当

身体障害や精神障害を有する20歳未満の児童を養育する方に手当が支給されます。(所得制限あり。障害を支給理由とする公的年金を受けるときや、社会福祉施設入所児は除きます)

▼問い合わせ 児童家庭課  
(☎5634)

## ◎特別障害者手当

20歳以上で、著しく重度の障害のため、日常生活において常時特別の介護を必要とする方に手当が支給されます。

▼問い合わせ 児童家庭課  
(☎5634)



# 福祉サービスのご案内

## ◎重度心身障害者（児） 介護手当

65歳未満の寝たきり重度心身障害者を6か月以上継続して日常生活の介護をしている方、また20歳未満の重度心身障害児を介護している保護者に手当が支給されます。（併給制限あり）

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）または  
児童家庭課（☎5634）

## ◎障害児福祉手当

20歳未満で日常生活において、常時介護を必要とする児童に手当が支給されます。（所得制限あり。障害を支給理由とする公的年金を受けるときや、社会福祉施設入所児は除きます）

▼問い合わせ 児童家庭課  
（☎5634）

## ◎児童扶養手当

父が重度の障害、または父と生計を同じくしていない18歳未満の児童（一定以上の障害児のときは20歳未満）を養育する母または養



育者に手当が支給されます。（所得制限あり。老齢福祉年金以外の年金受給者および社会福祉施設に入所した場合は除きます）

▼問い合わせ 児童家庭課  
（☎5634）

## ◎災害遺児手当

災害により父母または父母のいづれかの方が死亡もしくは、重度の障害状態となったとき、義務教育就学中の児童を養育している保護者に手当が支給されます。

▼問い合わせ 児童家庭課  
（☎5634）

## ◎交通遺児奨学金

保護者が交通事故で死亡したり、重い後遺障害で働けないため、学費に困っている方に、奨学金、入学一時金を貸与します。

▼問い合わせ（財）交通遺児育英会（☎03-3581-2271）

## ◎心身障害者 扶養共済制度

心身障害児（者）の保護者があらかじめ一定の掛金を納めることにより、保護者が亡くなった後に残された障害児（者）が一定の年金を終身受けることができます。

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）

## ◎福祉タクシー制度



在宅の重度身体障害者で一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、小型タクシー基本料金のうち月2回、年間24回分のタクシーチケット（1枚430円）を交付します。

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）

## ◎社会福祉施設入所者（児） 面会旅費の助成

市外にある身体障害者施設などの社会福祉施設等に入所している方にその家族が面会するために交通機関を利用するとき、その交通費を年2回まで助成します。（ただし、道外の施設入所の場合は除きます）

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）

## ◎水道利用料金助成

重度心身障害者を自宅で日常生活の介護をしている世帯で、水道

使用料金のうち家事用の基本料金相当額を助成します。

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）

## ◎有料道路運行情金 割引制度

身体障害者が自ら運転する場合または重度障害者、重度の精神薄弱者が乗車し、その移動のために介護者が自動車を運転する場合に有料道路の運行情金が半額になります。

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）

## ◎身体障害者 自動車燃料助成

身体障害者が日常生活のために使用する自動車の運行に伴う自動車燃料費のうち、これに含まれる税額分に相当する費用を助成します。

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）

福祉手当やサービスはそれぞれ、年齢や障害などにより条件が異なります。このほかにも、いろいろなサービスがありますので、詳しくは市役所社会福祉課へ問い合わせください。

▼問い合わせ 社会福祉課  
（☎1911）

今すぐ始めたい！

# 家庭でできるボランティア

## ～収集ボランティア～

古切手や使用済みテレホンカードなどが、社会福祉に役立つことをご存じですか？

ボランティア活動というと、「何をしたらよいかわからない」といった声がよく聞かれます。

平成6年12月に行われた市民意識調査でも、ボランティア活動をしたことのある人は約3割という結果が出ています。

収集ボランティアは、いつでもどこでも、すぐに、始めることができます。今まで捨てていたもの、ちよつと目を向けて、簡単にできるボランティア活動を家庭や職場、地域などで始めてみませんか。

登別市社会福祉協議会ボランティアセンターは、使用済み切手やテレホンカード、ロータスクーポン、書き損じはがきなどの収集を行っています。

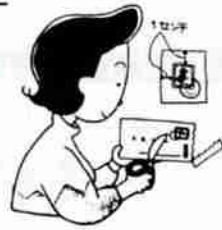
今年度、収集ボランティアの活動を広げるため、市内の公共施設などに、使用済みテレホンカード・書き損じはがき・ロータスクーポンの収集箱を設置する予定です。

使用済みテレホンカードなどは、収集箱に入れるか、ボランティアセンターへ直接届けてください。

### ▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター

(☎0860)

### ～使用済み切手～



#### 「収集方法」

切手は使用・未使用、日本・外国、通常・記念発行の種類に関係なく、どんなものでも構いません。

切手のまわり1センチほど余白を残して、封筒やはがきごと切り取ります。消印の部分は切らずに残してください。

#### 「活用方法」

ボランティアセンターでは、集められた切手を知的障害児問題の社会啓発運動を行っている団体に送り、活動資金の一部に役立てています。

### ～使用済みテレホンカード～

#### 「収集方法」

カードは汚れたもの、折れたものは除いてください。

の除いてください。

テレホンカード以外にもオレンジカードやハイウェイカードなどのプリペイドカードなども受け付けます。

#### 「活用方法」

ボランティアセンターでは、使用済みテレホンカードに点字を打ち、視力障害者のためのトランプ作りなどに役立てます。

また、フィリピンなどの少数民族を支援している団体に送り、販売された益金などで医薬品や援助物資を購入し、少数民族の支援などに活用されます。

### ～書き損じはがき～

#### 「収集方法」

余った年賀状や書き損じた官製はがき、古くなった未使用の官製はがきなど、未使用であれば、どのようなはがきでも構いません。

#### 「活用方法」

ボランティアセンターが手数料を払い、新しい切手や官製はがきに交換し、ボランティア講座の案内や通知など、市内のボランティア活動に役立てます。



### ～ロータスクーポン～



ロータスクーポン

#### 「収集方法」

ロータスクーポンは食料品やお菓子などの商品の外箱や袋についています。余白を残して大きめに切り取ってください。

#### 「活用方法」

ボランティアセンターに集められたロータスクーポンは、1点が1円相当に換算され、車イスや福祉用品と交換され、地域福祉の向上に役立てられます。

平成7年度中に、社会福祉協議会に寄贈された数

使用済み切手 3万200枚  
使用済みテレホンカード 550枚  
書き損じはがき 110枚



ベルマーク

グリーンマーク

このほかに、各小・中学校で収集されているものにベルマークやグリーンマークなどがあります。(グリーンマークは登別消費者協会でも取り扱っています)

詳しくは地域の各小・中学校へ問い合わせください。

▼グリーンマークの問い合わせ 登別消費者協会 (☎08307)

## 僕たちも集めました!



幌別中学校生徒会では、ダルニー奨学金でタイの中学生を支援するため、1月30日から3月13日まで書き損じはがきの収集を行い、250枚の目標をはるかに超える、1,912枚もの書き損じはがきが集められました。

生徒会長の竹崎敏郎君は、「たくさん集まって驚きました。人の助けになるのはいいことだと思うので、これからもいろいろなボランティア活動をしていきたいです」と、感想を話してくれました。

# 登別市文化伝承館が 開館しました



4月1日、川上公園の一角にある郷土資料館のとなり登別市文化伝承館がオープンしました。

この文化伝承館は、ふるさとの歴史や文化を学び、これを後世に伝えるための活動拠点として建設されました。姉妹都市宮城県白石市の白石城をモデルにした

スロープや身体障害者用トイレを備えています。

教育委員会では学校週5日制に伴う毎月第2・4土曜日、文化伝承館を活用した体験学習を行います。お正月のお飾りづくりやひな祭りのひな人形づくりなど時季にあつた学習をはじめ、草木染めやはたおりなど幅広い行事を予定していますので、気軽にご参加ください。

また、伝統芸能の練習や郷土史を学ぶサークルなどの活用も予定されています。市民の方も使用できますので、どうぞご利用ください。

## 文化伝承館 見取図



所在地	登別市片倉町6丁目27番地
総工費	45,238千円
規模	鉄筋コンクリート平屋建 延べ面積 157.36㎡

郷土資料館と同様の白亜の建物の中には、体験学習などに使う温故知新室や特別展示室があり、車椅子の方々も無理なく利用できるよう、玄関

毎年5月20日頃には、薄緑色の花びらをつける桜「御衣黄」をはじめ、「関山」「楊貴妃」など敷地内にある珍しい種類の桜が開花します。お花見をかねて見学してみたいかがですか。

▼使用申し込み・問い合わせ  
郷土資料館 (☎1339)

### ◎5月の体験学習

5月11日(土)  
白樺の木を使った花台づくり  
5月25日(土)  
竹馬、水鉄砲など昔の遊び体験

※体験学習日の小中学生の入館は無料です。

## 開館記念式典が行われました



4月13日(土)、文化伝承館の開館記念式典が行われました。

郷土資料館の佐藤館長のあいさつ後、登別市文化協会謡曲部による能楽(仕舞)と、札内小学校の児童・生徒8名による登別市無形民俗文化財の札内神楽獅子舞が披露され、集まった約130名の市民から大きな拍手が送られました。

後半は、体験学習として「手打ちそば」の見学が行われ、子どもたちは質問をしながら、そば粉からそばが打ちあがる様子を真剣に見入っていました。打ちあがったそばはボランティアのお母さんたちによってゆでられ、子どもたちはおいしそうに食べていました。



# きらり

「登別ぐるりんGO」女性運転手

よもちよ  
四方千代さん(千歳町)

心配です。時間どおりに運行することにも気がつかないです」

「乗客の方に対して、気をつけていることは」

千歳町に住む四方さんが、4月1日道南バスに入社し、研修を終えて4月12日から市内路線バスの運転を始め、4月20日からはテーマパーク巡回バス「登別ぐるりんGO」の運転手として活躍しています。

道南バス初の女性運転手となった四方さんにお話を聞きました。バスの運転手になろうと思ったきっかけは

「もともと車の運転が好きで、前の会社で砂利を乗せたタンブカーを運転したり、テーマパークの送迎バスを運転していました。大きい車が好きでしたので、いつか市内路線バスを運転したいと思っていました」

「路線を覚えるのが大変ですね。研修で初めて通った道路もありましたし、路線をまちがえないかと、

行かない」という声が聞かれますが、季節ごとにその良さがありませんので、何度でも行ってみたいです」

「登別ぐるりんGO」は、かわいらしいイラストの描かれたバスで、4テーマパークを11月24日まで、毎日巡回しています。

四方さんの運転する「登別ぐるりんGO」に乗って、テーマパークを訪れてみませんか。

「観光客の方が乗ることが多くなると思いますが、4テーマパークとも、それぞれの良さがありますので、少しでもわかっていただけるようにお手伝いできればいいと思います」

「これからの目標は」

「今の目標は早くきちんと運転できるようなことです。バスの運転手はずっと続けたいと思っていますので、もっと女性の運転手が増えるといいですね」

「市民のみなさんに一言」

「テーマパークには一度しか



▲四方さんが運転する「登別ぐるりんGO」

富士町の

竹口恭子さん

は、個人

ボランティア

の登録を

きっかけに、

障害を乗り越え

ながら車椅子で生

活している富士町の

藤田さんご夫妻を支える活動を

始めました。

## いまいま ボランティア

地域でのボランティア活動  
こころのふれあいが  
うれしくて

をしてあげ  
ることは  
なく、こ  
ろのふれあ  
いの中から、  
おたがいを励  
ましあうことな  
のです。

ボランティアセンター

伝言板

藤田さんご夫妻の「いつまでもこの街で暮らしたい」という願いに共感した主婦やOL、高校生などの個人ボランティア11名が毎日交替で藤田さん宅を訪れ、簡単な家事援助などをして

います。

竹口さんは、「お友だちの家に遊びに行くつもりでお手伝いをしていきます。藤田さんの優しく温かい心に触れ、いつも逆に励まされてい

ます」と話してくれました。

藤田さんご

夫妻も、デイ

・サービスの

木影講座の講

師などのボラ

ンティア活動

をしています。

ボランティア

活動は何か



ボランティアセンターでは、次の活動をしてくれる方を探しています。ボランティアを受けたい方の相談にも応じています。お気軽にお電話ください。

○障害をもった方のための簡単な家事援助

○お年寄りや障害をもった方のための移送(運転)

○目の見えない方のための代筆や代読

○外出できないお年寄りの散髪

○お年寄りなどの通院の付き添い

○ひとり暮らしのお年寄りなどの話し相手

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター

(☎0860)



## 水しぶきに歓声！ 市民プールオープン

4月2日（火）、千歳町の登別市民プールがオープンしました。初日のこの日は、婦人水泳サークルのメンバーや、春休み中の子どもたちが訪れ、久しぶりの泳ぎを楽しみながら水しぶきをあげていました。

プールの管理運営は、今シーズンから登別市文化・スポーツ振興財団が行うことになり、財団のスタートを祝って、後藤財団理事長、利用者代表の前田さん（登別スイミングクラブ）、藤村さん（婦人サークル・イルカ）によりテープカットが行われました。



## 希望を胸に

～日本工学院北海道専門学校入学式～

4月12日（金）、日本工学院北海道専門学校で平成8年度の入学式が行われました。15期生となった新入生386名が、次代を担う技術者を目指し、学校生活の一步を踏み出しました。

式典では、中山学校長を始め多くの方から、お祝いや激励の言葉が送られ、最後に新入生を代表し、情報工学科の勝瀬好範さんが「技術的にも、人格的にも、時代をリードする人間になれるよう努力します」と力強く決意を述べました。



## 登別市・室蘭市・伊達市は

### 協力して がんばります

- 4月8日（月）、登別市・室蘭市・伊達市の市長による第35回広域行政懇談会が開かれ、合同事業や新たな共同研究の着手について確認しました。
- ① 3市の市民を対象としたホームヘルパー合同研修会を行います。
  - ② 現在、国で検討している公的介護保険制度や、下水道汚泥の安定的な処理処分方策と減量化、資源化に向けた共同研究に着手します。
  - ③ 国立登別病院の存続と難病のための長期療養型施設への機能転換を国などに求める共同要請を行います。



# 東 奔



4月15日(月)、登別温泉・地獄谷周  
 辺で登別温泉中学校の生徒25名による鳥  
 の巣箱かけと散策路清掃が行われました。  
 助自然公園美化管理財団登別支部提供  
 の木製巣箱15個を、使いなれない脚立で  
 ミズナラやナナカマドなどの木に「本当  
 に巣作りしてくれるのかな」と心配そう  
 に取り付けていました。  
 巣箱には、シジュウカラ、ヤマガラな  
 どのさまざまな鳥が巣作りし、ヒナたち  
 が巣立つ6〜7月に取り付けた巣箱を全  
 て取り外すそうです。

## 入居者募集しています

### 地獄谷周辺で鳥の巣箱かけ

登別温泉・地獄谷周辺で登別温泉中学校の生徒25名による鳥の巣箱かけと散策路清掃が行われました。



## 「富岸小系こけし」でまよった

### こけしの絵付けに挑戦!

富岸小学校で4月17日(水)、  
 「弥次郎系こけし」工人の清水た  
 かよさんの指導で、6年生125名と  
 富岸老人クラブ・富久寿会メンバー  
 14名がこけしの絵付けに挑戦しま  
 した。  
 筆を持ち、18寸の白木のこけし  
 に向かう子どもたちの目は立派な  
 芸術家。  
 互いにできあがった作品を見せ  
 あい「変な顔になっちゃった」と  
 笑う子どもたちの顔が一番すばら  
 しい絵付けでした。  
 このうち25点のこけしは5月3  
 日に白石市で開かれる「全日本こ  
 けしコンクール」に出展されます。

## 仲間たち

### デイ・サービスのお手伝い



## 在宅福祉ボランティアとわの会

会長 砂田 千エノさん

☎5928

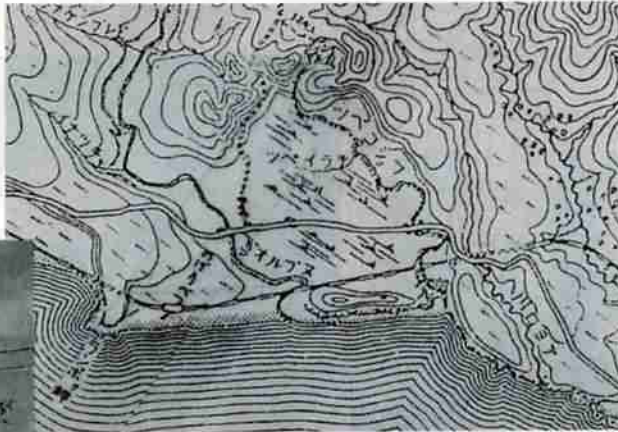
「とわの会」は、社会福祉協  
 議会が行う、寝たきり老人の入  
 浴介護サービス事業を手伝って  
 いた市内3つのボランティア団  
 体を中心となり、平成3年に結  
 成された在宅福祉のボランティ  
 アサークルです。  
 平成6年に「しんた21」がオー  
 プンし、お年寄りと身障者を対  
 象に入浴や給食などを提供する  
 デイ・サービス事業が始まって  
 からは、そのお手伝いを中心  
 に活動をしています。  
 現在会員は、40代から70代ま  
 での女性21名で、月曜から金曜  
 までの毎日2名ずつ組んで、午  
 前10時30分から午後3時まで、  
 デイ・サービス利用者の送迎や  
 歩行の介助、食事の準備、入浴

後のお世話などを行っています。  
 会長のお砂田さんは、「温かい  
 気持ちでいつも利用者へ接する  
 ように心掛けています。一日楽  
 しんでもらう「来て良かった」と  
 喜んでもらえればうれしです。  
 お年寄りとの交流もあります  
 し、みんな、やっついて楽しい  
 と言ってくれます。  
 これからも、無理をしないで、  
 自分たちのできる範囲で地域の  
 力になりたいです。  
 会の名「永和」の由来のよう  
 に細く長く和やかに続けていき  
 たいですね」と優しく話してく  
 れました。  
 「とわの会」では会員を随時  
 募集しています。詳しくは砂田  
 さんまで連絡ください。

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

## 「札幌本道」登別を通る(5)

### 登別と白老の境界 フシコベツ



▲明治29年(約100年前)、陸地測量部の登別の図  
フシコベツも見える

▲新道出来形絵図に見えるフシコベツ  
幌別郡と白老郡の境界杭も見える



登別本町・登別東町を通る札幌本道は、登別小学校前から勝間商店・渡辺金物店北側にぬけ、登別マリナーパークニクス前の北側国道、登別市・白老町の境界を標示した方向に進んでいます。

境界付近は、江戸時代からフシコベツの川の名が地名になっているところ、川の源流は登別時代

村の南側フシコベツエトコ124の山麓から流れています。

フシコベツとは「古い川」の意味で、登別町を取りまく周囲約50〜60の高台の裾の至る所から水が湧きだし、登別本町2丁目付近の山際に、チャラシナイ(サラサラ流れる谷川)・ボブケナイ

(沸騰する小川)の地名も残していますが、茅や葦・ヤチタモが密生した沼や湿原の中の何処を流れているのか分からない澁んだ古川の様相からフシコベツと称されたよう道内にも多くある地名です。

江戸末期の資料「東蝦夷地海岸図台帳」に、幌別・白老の境界フシコベツを海岸側から測量しましたが「谷地深く、馬に乗って進んでも馬の背が水に浸るほど」と難儀の様子を伝えています。登別

東町1・3・4・5丁目の昔は、このような情景であったようです。新道出来形絵図でみる幌別郡と白老郡の境界も、この伏古別まで(驚別)役所前405番杭から伏古別幌別郡内の杭は94番交わっている。因みに札幌迄4千440本。

また、絵図をよくみると、フシコベツを渡る橋が本道に架かっていない、本道の北西側に狭い脇道が造られ、丸木橋のような細い橋が見えます。当時の広い湿地に盛土工法や土木・橋梁技術で施工しても、要は人海戦術、開拓使の財力も乏しく、道路・橋梁の維持は困難で流失したのでしょうか。

本道の脇道の仮橋を渡ると、白老郡領内に「是より西胆振国幌別郡・是より東胆振国白老郡」と両郡の境界を示した大きな2本の角杭が並立して見えます。白老側に境界柱があるのは、沢川が幌別郡内に曲がりこんでいたからでしょう。

フシコベツの境界から、現在の国道36号線に沿うように臨海温泉高台地区に進み、大野商店の裏側の旧道をのぼり、通称虎杖浜神社へ出て、海岸沿いの虎杖浜の旧道を白老方面に札幌本道は進んでいました。

札幌本道の道幅は、普通7.3から12.7(4間〜7間)で道の両側に排水溝を掘り、土盛りは厚さは平均35ほど、宿駅など人家のある所は8間幅にしたり、地形によ

り柔軟性もありました。

札幌まで、架けられた橋は223橋、工事に従事した労務者の延べ人数は約75万余、工事災害死亡者71人、病氣・怪我385人と記されています。

開拓使は、全道からの道を札幌に通じさせる考えから、札幌の町通りに道内各地の国・郡名をつけていました。現在の大通りは後志通り、大通りに面する西2丁目胆振通り、西6丁目は室蘭通り、西7丁目幌別通りなどというもので、南北を条、東西を丁と町名変更をした明治14年まで続きました。

札幌本道の開削は、約125年前の明治初期に、簡易ながらも砂利敷舗装を予定した日本で一番古い本格的な長距離車馬道でした。

また、札幌本道の路線は、北海道の基幹国道として、第2次世界大戦後は国道36号線に引きつがれています。登別市を通る国道36号線も「我国最初の長距離アスファルト道路」として、道路舗装技術の基礎を築いた輝かしい歴史の路線なのです。

### 訂正とおわび

広報のほりべつ4月1日号15ページ「郷土史点描」の文中、3段目の29・30行目を次のように訂正し、おわびします。

山側の登別神社旧社地は、登別神社の跡で、同神社は昭和14年、中登別町12番地に移転した。

# あらがると

## 情

### 高額療養費の

#### 自己負担額が変わります

▼対象 国民健康保険被保険者で  
市民税課税世帯の方  
〈自己負担額〉

◎現行 6万3千円(平成8年  
4月30日までの診療分)

◎新 6万3千600円(平成8年5  
月1日からの診療分)

※なお、市民税課税世帯で高額療養費が年4回以上該当した方、非課税世帯の方は世帯合算の自己負担額に変更ありません。

▼問い合わせ 保険年金課  
(☎1771)

### 健康診断しませんか!

市は、みなさんの健康管理に役立てていただくため短期人間ドック健診料の助成を行っています。詳しくは問い合わせください。

▼対象 35歳以上の国民健康保険加入者で、現在入院や通院をしていない方

▼健診内容 胸部・胃部X線、血液、尿、心電図、眼、腹部エコーなどの検査

▼受診場所 室蘭・登別総合健診センター、登別厚生年金病院

▼自己負担 3千円

▼申し込み・問い合わせ 保険年金課(☎1771)

### ファミリー登山教室を開きます

～登別市文化・スポーツ振興財団～

カムイヌプリ山開きを兼ねた登山会を開きます。



▼日時 5月19日(日) 8時～

▼集合場所 カムイヌプリ3合目登山口

▼対象 小学生以上の市民

▼参加料 無料(ただし、スポーツ傷害保険料150円を当日持参)

▼用意するもの 昼食、雨具、軍手、帽子、飲料水

▼申し込み 5月15日(水)まで  
電話で登別市文化・スポーツ振興財団(☎1116)

### 川との出会い 「自然をみつける物語」

講演会

ヨシキリの会は、北大の小野有五教授を講師に招き、川のしくみや大切さを、科学者の視点からやさしく解説します。

小学校高学年にもわかる楽しいお話です。ぜひご参加ください。

▼日時 5月11日(土) 18時30分～  
▼会場 市民会館

▼入場料 無料

▼問い合わせ 伴野さん  
(☎7515)

### デイ・サービス講座の

#### 受講生を募集します

社会福祉協議会(デイ・サービスセンター)は、心身障害者の方を対象に、①自立的生活の促進、②心身機能の維持向上、③家族の身体的精神的負担の軽減などを目的に、いろいろな講座を行っています。

平成8年度は、初心者を対象に新講座を開きますので、希望者は申し込みください。

▼新講座

講座	定員	曜日	時間	受講料
木影	10名	水・木	12時30分	教材費実費負担
ちぎり絵	10名	月・水	↓	
ワープロ	6名	火・木	14時30分	

※ほかに西洋陶芸、詩吟、書道、音声ワープロ、カラオケ講座などがありますので、希望者は申し込みください。

▼対象 市内に居住の心身障害者の方(身体障害者手帳、または療育手帳の交付を受けている方)と、その介護者

▼開講期間 5月から3月まで

▼送迎 しんた21の専用車で送迎

▼申し込み・問い合わせ 5月14日(火)まで社会福祉協議会(しんた21内デイ・サービスセンター☎0101)

または、保健福祉課(しんた21内)

### しんた21の電話番号は

6050-0100

※最近、「しんた21への間違い電話がかかってくる」との苦情が市民から寄せられています。くれぐれもお間違いないようお願いいたします。

### 「登別市内各種大会・行事一覧表」 をご利用ください

市内で行われるいろいろな行事を掲載した平成8年度「登別市内各種大会・行事一覧表」ができました。総務課または各支所で配布していますので、レクリエーションなどにご利用ください。

▼問い合わせ 総務課  
(☎1130)

### 美しい「まち」を!

#### 春の登別クリーン作戦

市内を清潔で、快適な美しいまちにするため町内のゴミを一掃しましょう。



▼日時 5月19日(日) 8時～9時

▼集積場所 9時までゴミステーション(あき伍は透明袋に入れるか、表示して出してください)

※当日は、家庭から出るゴミは出さないでください。

▼問い合わせ 環境衛生課  
(☎2958)

### 登別市太鼓同好会

#### 新会員募集

太鼓をたたき、日本の伝統芸能にふれてみませんか。

▼対象 市民(年齢・性別は問いません)

▼練習場所 市民会館(週1～2回)

▼指導 北海自衛太鼓

▼申し込み・問い合わせ 自衛隊広報班仙北さん・橋間さん(☎2011)、18時以降(☎1482)

### 訂正とおわび

◎広報のほりべつ4月1日号6ページの5段1行目若草地区は若山地区の誤りでした。

◎広報のほりべつ4月15日号1ページの「市の施設の開館日・閉館日」で各児童館の5月11日(土)の開館は開館の誤りでした。

また、市民プールの5月7日(火)～10日(金)の開館は閉館の誤りでした。訂正し、おわびします。

これなあに？



炭火アイロン (大正～昭和20年代)

オイラは、炭火アイロン。エントツがついているからって、蒸気機関車じゃないよ。近ごろ、オイラの姿を見かけないかも知れないけど、50年くらい前はみんなの家で活躍したものだ。

オイラの体は鉄で出来ていて、重さは約2kgととてもがっちりしてるんだ。オイラを使うときは、中に熱い炭を入れて使うんだよ。そのときオイラのエントツから、熱い空気が出てくるから、やけどに気を付けなきゃいけないんだ。

(登別市郷土資料館展示品)

人のうごき

●人口 56,857(-468)  
●世帯 22,417(-185)  
( )は前月比

平成8年3月末日現在

となりまち  
ホットライン

室蘭市

JFL(サッカー)  
コンサドーレ札幌V.S大分トリニティ



地元、北海道のプロサッカーチーム「コンサドーレ札幌」の道内での開幕戦が室蘭で行われます。来年のJリーグ入りを、みんな応援しましょう。

▼日時 5月19日(日) 13時キックオフ

▼会場 入江運動公園陸上競技場

▼入場券前売り料金(当日券は300円増)

S席自由 1千700円

一般 1千200円

小中学生 700円

▼チケット発売所

大西レコード店(富士町)、丸井今井室蘭支店 他

▼問い合わせ スポーツ課 ☎7521

伊達市

写真家掛川源一郎・洋画家野本醇  
二人展をご鑑賞ください



昨春秋に北海道文化賞を受賞した伊達市の写真家掛川源一郎さんと、同文化奨励賞を受けた洋画家野本醇さんの作品展を開催しますので、どうぞご鑑賞ください。また、イギリス人宣教師でアイヌ語研究者として知られるジョン・パチエラー(1854~1944)の貴重な遺品の数々を展示公開しますのであわせてご覧ください。

(無料)

▼日時 二人展:5月30日(木)~6月2日(日)、パチエラー遺品展:5月30日(木)~6月4日(火)ともに10時~18時

▼会場 カルチャーセンター大ホール・エントランスホール

▼問い合わせ カルチャーセンター

(001422)1515

(001422)1515

(001422)1515

この広報紙は再生紙を使用しています。